

崎津集落 世界遺産登録から1年

歓喜に沸いた世界文化遺産登録から1年。キリスト教関連遺産として注目を集めた崎津集落は、この1年でどのような変化があり天草市にどんな影響を与えているのでしょうか。

崎津集落を訪れる人が 2倍に増えています

崎津集落内の観光案内所では、訪れた人の数をカウントしており、世界文化遺産に登録された直後の7月から登録前と比べて2倍以上の人が訪れています。秋の好シーズンも好調をキープし、平成30年度は年間16万7千人の観光客が集落を訪れました。

天草宝島観光協会が行ったアンケート調査によると、集落を訪れた人のうち約6割が宿泊し、その半数以上が天草市内に宿泊と答えています。

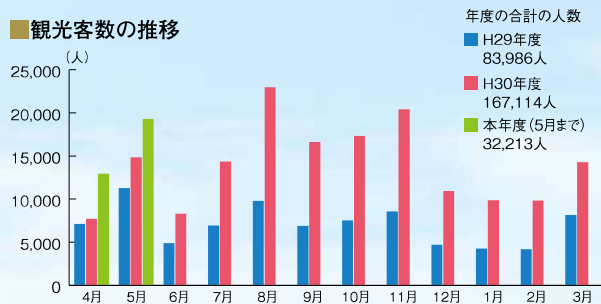
● 崎津集落の印象としては、街並みは以前のままで、観光設備が整っていた
● 小さな集落で信仰が守られていることがすごい
● 観光ガイドの説明がわかりやすい
● 集落の人がやさしく声をかけてくれた
といった意見がありました。

(この調査は、8月と10月、12月の休日の計3日間に崎津集落ガイドンセンター入口で実施)

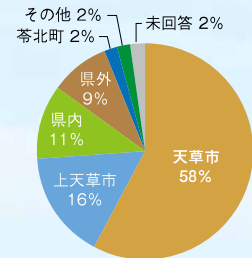


▲ 休日の崎津集落

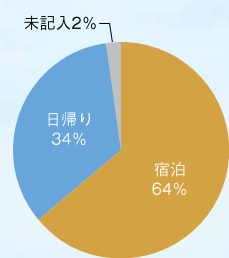
■ 観光客数の推移



■ 宿泊エリア



■ 日帰りと宿泊の割合



(一社)天草宝島観光協会調べ

Contents 主な内容

- 2 崎津集落 世界遺産登録から1年
- 8 いきいき健康
- 10 あまくさん
- 11 海にうかぶ博物館 天草の自然通信
- 12 マダニから身を守ろう！
- 13 暮らしの情報
- 26 市民のひろば
- 28 みんなの広場
- 30 宝島のわだい
- 34 イベントカレンダー／天草の潮汐
- 35 休日在宅病・医院／水道修繕当番店
- 36 令和2年度採用 市職員募集
8月1日から新しい保険証を使いましょう



マチイロ



Facebook



Instagram

人のうごき 5月31日現在

5月中の異動		※()内は前月比	
人 口	80,266 (110減)	出生	42人
男	37,717 (52減)	死亡	133人
女	42,549 (58減)	転入	120人
世帯数	37,022 (3増)	転出	139人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎231111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深 ☎721111・有 明 ☎531111 御所浦 ☎621111・倉 岳 ☎643111 栖 本 ☎631111・新 和 ☎621111 五 和 ☎211111・天 草 ☎421111 河 浦 ☎711111

- ①現在の集落の土地利用形態の継続と適切な維持管理
- ②集落の景観に合わない建物などの改善
- ③自然災害の発生に備えた集落全体の防災機能強化
- ④住民生活に支障がない適切な公開の管理
- ⑤集落を将来へ受け継ぐための生活や生業の活性化

この崎津集落を世界遺産へ申請するにあたり、どうやってこの遺産を保全するかを約束する「包括的保存管理計画」をユネスコに提出しました。

そこには

「現在の集落の土地利用形態の継続と適切な維持管理」

「集落の景観に合わない建物などの改善」

「自然災害の発生に備えた集落全体の防災機能強化」

「住民生活に支障がない適切な公開の管理」

「集落を将来へ受け継ぐための生活や生業の活性化」

の5つの保全方針を示しており、崎津らしさを残しながら景観を整

備していくことを明記しています。

これらは、地域の皆さんの暮らしと密接に関わるため、行政だけでなく、景観や信仰を継続して守っていくことが大変。後継者不足の解消や移住者の受け入れ態勢を整えるために、行政と住民が協力していくことが大切だと思う」と話していました。

「世界文化遺産に登録されたが、景観や信仰を継続して守っていくことが大変。後継者不足の解消や移住者の受け入れ態勢を整えるために、行政と住民が協力していくことが大切だと思う」と話していました。

崎津集落を守っていくために

文化課 主任 中山 圭

文化課 ☎6784



イベント情報など

文化財研修会（世界遺産関連講演会）

と き 7月18日(木)
13時30分～15時30分
ところ 天草宝島国際交流会館ポルト
3階多目的ホール
講 師 文化課 主任 中山 圭
熊本市文化財保護協会 ☎0964②8399
文化課 ☎6784

キリシタン墓地調査報告書を販売

内 容 五和町ペーが墓、岩宗墓地を調査した報告書
金 額 1冊650円(税込)
※郵送を希望の場合は別に250円必要です。
團 圓 天草キリシタン館 ☎3845

観光ガイド

パンフレットなどで学ぶだけでなく、「天草宝島案内人の会」のガイドがあれば、崎津集落の価値をより具体的に知ることができます。



料 金 1時間 3,000円 ※1時間毎にプラス 1,000円

7月から9月の土・日・祝日限定 崎津集落ガイドツアー

時 間 ①10時～ ②14時～ 各60分
料 金 1人500円
集 合 場 所 崎津集落ガイダンスセンター
定 員 各20人(事前申込み不可)
團 圓 (一社)天草宝島観光協会 ☎2243

住民と行政がひとつに

宮下商店 宮下憲一さん・美喜子さん



▲観光客に声をかける2人

集落で商店を営み、杉ようかんなどを販売する宮下憲一さん・美喜子さん夫婦。2人はずっと前から集落を見続けてきた。

世界遺産の登録に向けた動きが盛り上がるにつれ、崎津集落を訪れる観光客が増加。これに対応しようと「崎津観光案内所」や繁忙期には地区振興会のメンバーが集落内の案内を始めた。

妻の美喜子さんは、店の前にある観光案内所で教会に入るとき



▲宮下さん夫婦

マナーや集落内の案内をして、訪れた人に笑顔で声をかけている。

憲一さんは、「観光客も増え、空き家などを活用し新たな食事処もでき嬉しい」と活気が出てきたまちの変化を歓迎しつつ、「集落に住んで一緒にまちづくりをする人が出てきてくれないと…」と不安をのぞかせた。

「世界文化遺産に登録されたが、景観や信仰を継続して守っていくことが大変。後継者不足の解消や移住者の受け入れ態勢を整えるために、行政と住民が協力していくことが大切だと思う」と話していました。

「集落の中で頑張っている人」、「集落外から応援している人」、「行政」。それぞれの立場の人にインタビューしました。

インタビュー Interview

「天草」をもっと多くの人へ

「天草きぼうの家」代表 笹木小百合さん

「天草をもっと知ってもらいたい」と話すのは、障がい者の就労継続支援事業所「天草きぼうの家」の代表を務める笹木小百合さん。ここでは、障がいを持つ人たちと職員が一緒になって農家の手伝いや、さをり織り、という手織りなどを行っている。



▲代表の笹木さん

「トートバッグには、細かく切ったさをり織りの生地を使って崎津教会をデザイン。このトートバッグの製作に取りかかったのは、ユネスコへ世界遺産登録の推薦書一度取り下げた平成29年ごろ。

「崎津集落を少しでもPRし、登録への後押しができれば」との思いからだったという。お土産などでトートバッグをもらった人から「天草へ行ってみよう」という声も聞こえ、やりがいを感じている。

「これからも利用者と一緒に社会貢献活動を通して多くの人に天草を知ってもらいたい」と思いを語ってくれました。



▶利用者が一つひとつ手作業で製作



▲隠れ部屋のジオラマ



▲きょうけ 経消しの壺
葬儀のときにお経を
封じ込めた壺

◆天草・長崎キリシタン遺跡写真展

とき 9月1日@まで

内容 島原半島および天草のキリシタン墓碑遺跡やキリシタン殉教の地の慰霊碑などの写真と遺物を展示。

天草ロザリオ館

天草の潜伏キリシタンからキリスト教解禁後の天草をテーマにした天草ロザリオ館。

この館では、潜伏キリシタンの歴史を迫力ある映像で見ることが出来ます。当時の潜伏キリシタンの信仰のようすを再現した屋根裏の「隠れ部屋」は、実物大の人形が手を組み今にもオラショ（祈りの言葉）が聞こえてきそう。他にも信仰の対象となったマリア観音や大黒天、葬儀のときに使われた経消しの壺など当時の貴重な信心具が展示されています。

☎天草ロザリオ館 ☎@5259

天草町大江1749番地



崎津集落

天草コレジヨ館

キリスト教の伝来と南蛮文化をテーマにした天草コレジヨ館。

この館では、ローマ教皇へ派遣された天正少年遣欧使節の苦難の足跡を知ることが出来ます。彼らが持ち帰ったグーテンベルク印刷機で「天草本」と呼ばれる多くの活字印刷物が印刷されました。中でも「伊曾保物語（イソップ物語）」や「平家物語」などのローマ字本は貴重な資料です。

☎天草コレジヨ館 ☎@0388

河浦町白木河内175番地13



▲グーテンベルク印刷機（複製）

◆天草・長崎キリシタン遺跡写真展

とき 9月1日@まで

内容 天草と長崎外海などの潜伏キリシタン遺跡の写真など約50点を展示。

◆天草本がインターネットで公開

大英図書館が所蔵し、1冊のみ現存する天草本「平家物語」「伊曾保物語」「金句集」の画像がインターネットで公開中。 ※詳細は国立国語研究所のホームページを検索してください。

資料館を巡ってキリシタン文化を感じよう！

崎津集落以外にもキリシタン史と文化を学べる3つの資料館があります。この3館は、それぞれ「キリスト教の伝来と南蛮文化」、「島原・天草一揆」、「潜伏キリシタンからキリスト教解禁後の天草」をテーマに展示しています。キリシタン史と文化を学んで、この世界遺産の本質的な価値を理解しましょう。



天草キリシタン館

天草キリシタン史の概要と島原・天草一揆をテーマにした天草キリシタン館。

この館では、天草のキリスト教の概要を知ることができ、キリスト教の伝来と南蛮文化、島原・天草一揆、その後の天草復興とキリスト教信仰の3つの時代に分けて展示しています。天草四郎や一揆について資料や映像などを使って分かりやすく解説。

展示室に入って、まず目に飛び込んでくるのは天草四郎陣中旗。島原・天草一揆で使用された旗で、血痕など、戦いの痕跡が生々しく残っています。他にも「隠し十字仏」など潜伏キリシタンの信仰を物語る多数の展示品があります。

千人塚や祇園橋などの史跡を巡る「わくわく歴史探検隊」も開催しており、今年も11月に予定されています。

☎天草キリシタン館 ☎@3845

天草市船之尾町19番52号



◆「天草四郎陣中旗」を公開

とき 8月1日@～7日@

内容 国指定重要文化財「綸子地著色聖体秘蹟図指物（通称：天草四郎陣中旗）」の実物を公開。劣化防止のため実物の公開日数が制限されています。この機会にぜひご覧ください。

◆「わくわく歴史探検隊」

とき 11月@予定

内容 キリシタン墓地や祇園橋などの史跡巡りとキリシタン館見学。

▶綸子地著色聖体秘蹟図指物



◀鏡仏
潜伏キリシタンの信仰遺物と伝えられている



▲「天草四郎陣中旗」を見学

※特別に許可を受けて撮影しています



◀原城包囲図
原城合戦の様子を描いた図